

**令和5年度**

**看護職員離職者実態調査報告書**

令和6年1月

公益社団法人 岡山県看護協会  
岡山県ナースセンター

## 目 次

看護職員離職者実態調査結果.....	1
資 料.....	21
1 看護職員離職者実態調査に関して.....	22
施設長、退職者個人への依頼文書.....	22
令和4年度 看護職員離職者実態調査票.....	24
2 看護師等の離職時等の届出制度のご案内.....	30
3 e ナースセンター登録、利用のご案内.....	31



# 看護職員離職者実態調査結果

## I 調査目的

病院及び訪問看護ステーションを離職した看護職員の離職理由、現在の勤務状況、再就業のための希望条件等の実態を明らかにし、看護職員が働き続けられる環境づくり、就業支援をするための資料とする。

## II 調査方法

### 1. 調査期間

令和4年4月1日～令和5年4月30日

### 2. 調査対象

令和4年4月1日から令和5年3月31日の間に岡山県内の病院等を離職した看護職員

### 3. 調査方法

- 1) 年度初めに、岡山県内全病院（155病院）及び訪問看護ステーション（109施設）の看護部門責任者に離職者実態調査票（以後「調査票」という）を、前年度離職者数を参考に必要数を郵送した。
- 2) 看護部門責任者に離職する看護職に調査票を手渡し、調査票記入後、同封の投函用封筒に封入し、ナースセンターに返送するよう説明を依頼した。
- 3) 年度末に看護部門責任者に調査票配布数の報告を受けた。

### 4. 調査対象者への倫理的配慮

本調査への協力は任意であり、また回答は無記名とし、個人及び施設が特定されることはないこと、また、得られた結果は目的以外には使用しないこと、個人や施設が特定されるような公表はしないこと等を明記したものを調査票とともに配布した。

## III 回収率

令和4年度の看護職離職者数は1,793人である。その離職者に配布した調査票は1,338枚であり、そのうち回答が得られた調査票は422枚で回収率は31.5%であった。

## IV 調査結果及び考察

### 1. 対象者の属性

#### (1) 現住所（表1）

現住所は、「岡山県内」396人（93.8%）、「岡山県外」26人（6.2%）であった。

#### (2) 年齢（表2）

「20～29歳」が178人（42.2%）で最も多く、次いで「30～39歳」が97人（23.0%）と多かった。60歳以上は46人（10.9%）であった。

表1 現住所 n=422

項目	人数	%
岡山県内	396	93.8
岡山県外	26	6.2

表2 年齢 n=422

項目	人数	%
20歳未満	1	0.2
20～29歳	178	42.2
30～39歳	97	23.0
40～49歳	54	12.8
50～59歳	45	10.7
60～64歳	33	7.8
65～70歳	12	2.8
71歳以上	1	0.2
無回答	1	0.2

(3) 性別 (表 3)

「女性」403人(95.5%)、「男性」19人(4.5%)であった。

(4) 結婚 (表 4)

「既婚」213人(50.5%)、「未婚」188人(44.5%)、「離死別」21人(5.0%)であった。

(5) 家族の状況

①こどもの有無 (表 5-1)

「こどもがいる」は178人(42.2%)、「こどもがいない」は244人(57.8%)であった。

②一番下のこどもの状況 (表 5-2)

こどもを持つ178人のうち、一番下のこどもが「中学生以上」であるのは85人(47.8%)、「未就学児」であるのは71人(39.9%)、「小学生」が22人(12.4%)であった。昨年度のそれらは、46.8%、41.2%、11.2%であった。

③要介護者の有無 (表 5-3)

同居に限らず家族の中に現在介護を必要とする人がいると答えた人は、59人(14.0%)であり、昨年度は13.5%であった。

④要介護者の続柄 (表 5-4)

「要介護者がいる」と答えた59人について、介護の対象者は、「父母」が40人(67.8%)、「祖父母」が17人(28.8%)であった。

表 3 性別 n=422

項目	人数	%
女	403	95.5
男	19	4.5

表 4 結婚 n=422

項目	人数	%
未婚	188	44.5
既婚	213	50.5
離死別	21	5.0

表 5-1 こどもの有無 n=422

項目	人数	%
いる	178	42.2
いない	244	57.8

表 5-2 一番下のこどもの状況 n=178

項目	人数	%
未就学児	71	39.9
小学生	22	12.4
中学生以上	85	47.8

表 5-3 要介護者の有無 n=422

項目	人数	%
いる	59	14.0
いない	363	86.0

表 5-4 要介護者の続柄

(複数回答) n=59

項目	人数	%
父母	40	67.8
祖父母	17	28.8
こども	0	0
配偶者	3	5.1

## 2. 離職時の状況

### (1) 離職時の職種（表 6）

離職時の職種は、「看護師」が 398 人（94.3%）で最も多く、次いで「准看護師」12 人（2.8%）、  
「助産師」9 人（2.1%）、「保健師」1 人（0.2%）であった。

### (2) 離職した施設種別（表 7）

離職した施設種別は、「病院」406 人（96.2%）、「訪問看護ステーション」12 人（2.8%）で  
あった。

### (3) 離職時の雇用形態（表 8）

離職時の雇用形態は、「正規職員（フルタイム勤務）」354 人（83.9%）、「正規職員（短時間  
勤務）」30 人（7.1%）、「非正規職員」38 人（9.0%）であった。

### (4) 離職時の勤務形態（表 9）

離職時の勤務形態は、「二交代制」150 人（35.5%）、「日勤のみ」116 人（27.5%）、「三交代  
制」103 人（24.4%）であった。

### (5) 通算勤務年数（表 10）

通算勤務年数は、「20 年以上」107 人（25.4%）が最も多く、「4～6 年」94 人（22.3%）、「1  
～3 年」65 人（15.4%）の順であった。昨年度のそれらは、24.4%、23.2%、15.8%であった。

表 6 離職時の職種 n=422

項目	人数	%
看護師	398	94.3
准看護師	12	2.8
助産師	9	2.1
保健師	1	0.2
無回答	2	0.5

表 7 離職した施設種別 n=422

項目	人数	%
病院	406	96.2
訪問看護 ステーション	12	2.8
その他	2	0.5
無回答	2	0.5

表 8 離職時の雇用形態 n=422

項目	人数	%
正規職員 (フルタイム勤務)	354	83.9
正規職員 (短時間勤務)	30	7.1
非正規職員	38	9.0
派遣	0	0

表 9 離職時の勤務形態 n=422

項目	人数	%
二交代制	150	35.5
日勤のみ	116	27.5
三交代制	103	24.4
夜勤のみ	31	7.3
短時間勤務	11	2.6
ミックス（三交・二 交併用）	1	0.2
その他	8	1.9
無回答	2	0.5

(5) 今回離職した施設での勤務年数 (表 11)

今回離職した病院での勤務年数は「4～6年」119人(28.2%)が最も多く、次いで「1～3年」101人(23.9%)であり、昨年度のそれらは、25.7%、26.5%であった。また、「1年未満」で退職した人は36人(8.5%)で、昨年度に比べ1.6%増加した。

(6) 離職施設数 (表 12)

今回の施設を含めた離職施設数は、「1施設」225人(53.3%)が最も多く、「2施設」86人(20.4%)、「3施設」54人(12.8%)であり、昨年度のそれらは55.8%、19.4%、11.5%であった。「5施設」以上は34人(8.1%)で、昨年度に比べ3.1%増加した。

(7) 勤務した施設はだれに紹介してもらったか (表 13)

「出身学校(専門学校・大学等)」167人(39.6%)で最も多く、次いで「自分で探した」108人(25.6%)、「知人」46人(10.9%)であった。また、「その他」の内容は、「実習先」、「家族」、「元勤務先(上司)からの紹介」などであった。

表 10 通算勤務年数 n=422

項目	人数	%
1年未満	14	3.3
1～3年	65	15.4
4～6年	94	22.3
7～9年	49	11.6
10～14年	49	11.6
15～19年	36	8.5
20年以上	107	25.4
無回答	8	1.9

表 11 今回離職した施設での勤務年数 n=422

項目	人数	%
1年未満	36	8.5
1～3年	101	23.9
4～6年	119	28.2
7～9年	43	10.2
10～14年	41	9.7
15～19年	34	8.1
20年以上	48	11.4

表 12 離職施設数 n=422

項目	人数	%
1施設	225	53.3
2施設	86	20.4
3施設	54	12.8
4施設	22	5.2
5施設	14	3.3
6～9施設	19	4.5
10施設以上	1	0.2
無回答	1	0.2

表 13 だれに紹介してもらったか (複数回答) n=422

項目	人数	%
出身学校(専門学校・大学等)	167	39.6
自分で探した	108	25.6
知人	46	10.9
民間職業紹介所	45	10.7
ハローワーク	40	9.5
ナースセンター	24	5.7
その他	17	4.0
無回答	3	0.7

(8) 今回の離職理由（表 14、表 15、図 1、図 2）

今回の離職理由について、5 個まで回答可としたところ 1,597 個の回答があり、1 人あたり平均 3.8 個であった。離職理由上位 5 位は、「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」137 人（32.5%）、「人間関係」135 人（32.0%）、「看護内容への不満」及び「給料・賃金が安い」がともに 111 人（26.3%）、「健康上の理由」96 人（22.7%）であった。離職理由 1 位は昨年度 3 位の「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」であった。昨年度 1 位であった「人間関係」は、僅差ではあるが今年度は 2 位であった。

表 14 今回の離職理由（5 個まで回答可）

項目	R4 年度 n=422		R3 年度 n=505	
	人数 (%)	順位	人数 (%)	順位
勤務時間が長い、残業が多い (労働時間への不満)	137 (32.5)	1	131 (25.9)	3
人間関係	135 (32.0)	2	157 (31.1)	1
看護内容への不満	111 (26.3)	3	108 (21.4)	5
給料・賃金が安い	111 (26.3)	3	108 (21.4)	5
健康上の理由	96 (22.7)	5	139 (27.5)	2
転居	92 (21.8)	6	124 (24.6)	4
他分野への興味・スキルアップ	88 (20.9)	7	96 (19.0)	8
他の職場で働きたかった	74 (17.5)	8	98 (19.4)	7
夜勤の負担が大きい	70 (16.6)	9	69 (13.7)	14
出産・育児・こどものため	68 (16.1)	10	82 (16.2)	10
休みがとりづらい	67 (15.9)	11	63 (12.5)	15
ハラスメント	65 (15.4)	12	63 (12.5)	15
家事と両立しない	62 (14.7)	13	82 (16.2)	10
責任が重すぎる	62 (14.7)	13	79 (15.6)	13
自分の適性能力・看護技術への不安	61 (14.5)	15	87 (17.2)	9
結婚	55 (13.0)	16	80 (15.8)	12
通勤困難	41 (9.7)	17	53 (10.5)	17
医療事故への不安	39 (9.2)	18	40 (7.9)	19
親の世話・家族の介護	36 (8.5)	19	48 (9.5)	18
福利厚生が不十分	31 (7.3)	20	31 (6.1)	20
継続教育が不十分	23 (5.5)	21	28 (5.5)	22
定年退職	21 (5.0)	22	29 (5.7)	21
契約期間満了	10 (2.4)	23	17 (3.4)	23
進学	8 (1.9)	24	3 (0.6)	24
その他	34 (8.1)	—	46 (9.1)	—
無回答	1 (0.2)	—	2 (0.4)	—

離職理由について、未既婚別（図1）で見ると、未婚者では「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」74人（39.4%）、「人間関係」69人（36.7%）、「看護内容への不満」62人（33.0%）の順が多かった。既婚者では「出産・育児・こどものため」62人（29.1%）、「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」が57人（26.8%）、「人間関係」55人（25.8%）の順が多かった。離死別者では「人間関係」11人（52.4%）、「給料・賃金が安い」7人（33.3%）、「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」及び「看護内容への不満」、「自分の適性能力・看護技術への不安」がともに6人（28.6%）と多かった。

また、雇用形態別（図2）で見ると、正規職員では「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」132人（34.4%）、「人間関係」124人（32.3%）、「看護内容への不満」104人（27.1%）の順が多かった。非正規職員では「給料・賃金が安い」及び「出産・育児・こどものため」がともに12人（31.6%）で最も多く、次いで「人間関係」及び「自分の適性能力・看護技術への不安」がともに11人（28.9%）であった。

次に年齢別（表15）で見ると、20歳未満～20歳代の離職理由は、「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」72人（40.2%）、「転居」57人（31.8%）、「人間関係」55人（30.7%）の順が多かった。30～39歳では「出産・育児・こどものため」38人（39.2%）、「人間関係」31人（32.0%）、「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」30人（30.9%）の順に多く、40～49歳では「看護内容への不満」22人（40.7%）、「人間関係」19人（35.2%）、「他分野への興味・スキルアップ」17人（31.5%）の順が多かった。50～59歳では「看護内容への不満」19人（42.2%）、「人間関係」17人（37.8%）、「健康上の理由」14人（31.1%）の順が多かった。60歳以上では「定年退職」が21人（45.7%）で最も多く、次いで「健康上の理由」14人（30.4%）、「人間関係」12人（26.1%）であった。

#### (9) 離職理由「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」について

昨年度は131人（25.9%）で離職理由3位であったが、今年度は137人（32.5%）で1位であった。未既婚別では昨年度と同様に未婚者が多く、離職理由1位であった。雇用形態別でも昨年度と同様に正規職員が圧倒的に多かった。年齢別では20歳未満～20歳代が40.2%で離職理由の1位であり、30歳代では30.9%で3位、40歳代、50歳代ではそれぞれ29.6%、24.4%で4位であった。

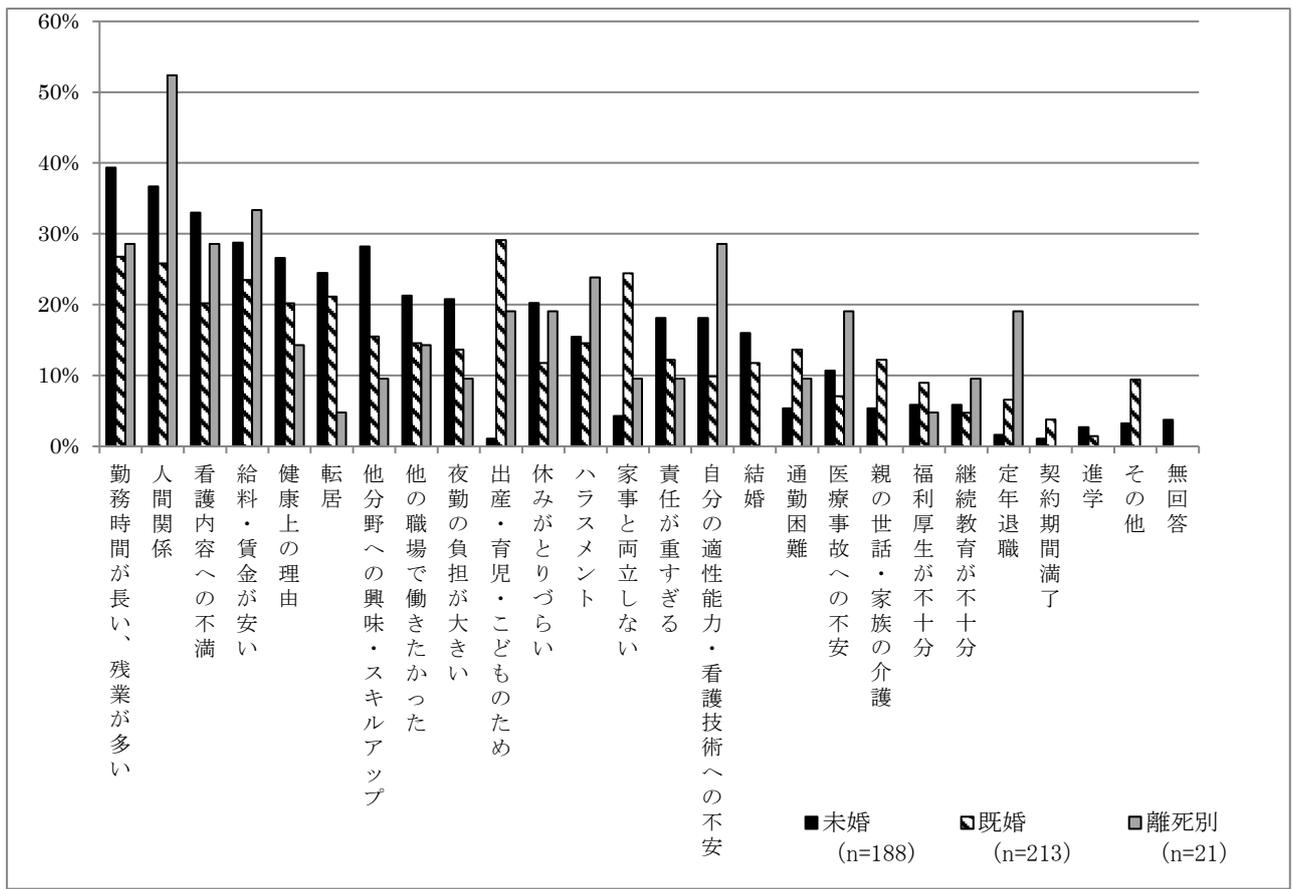


図1 離職理由 一未既婚別一

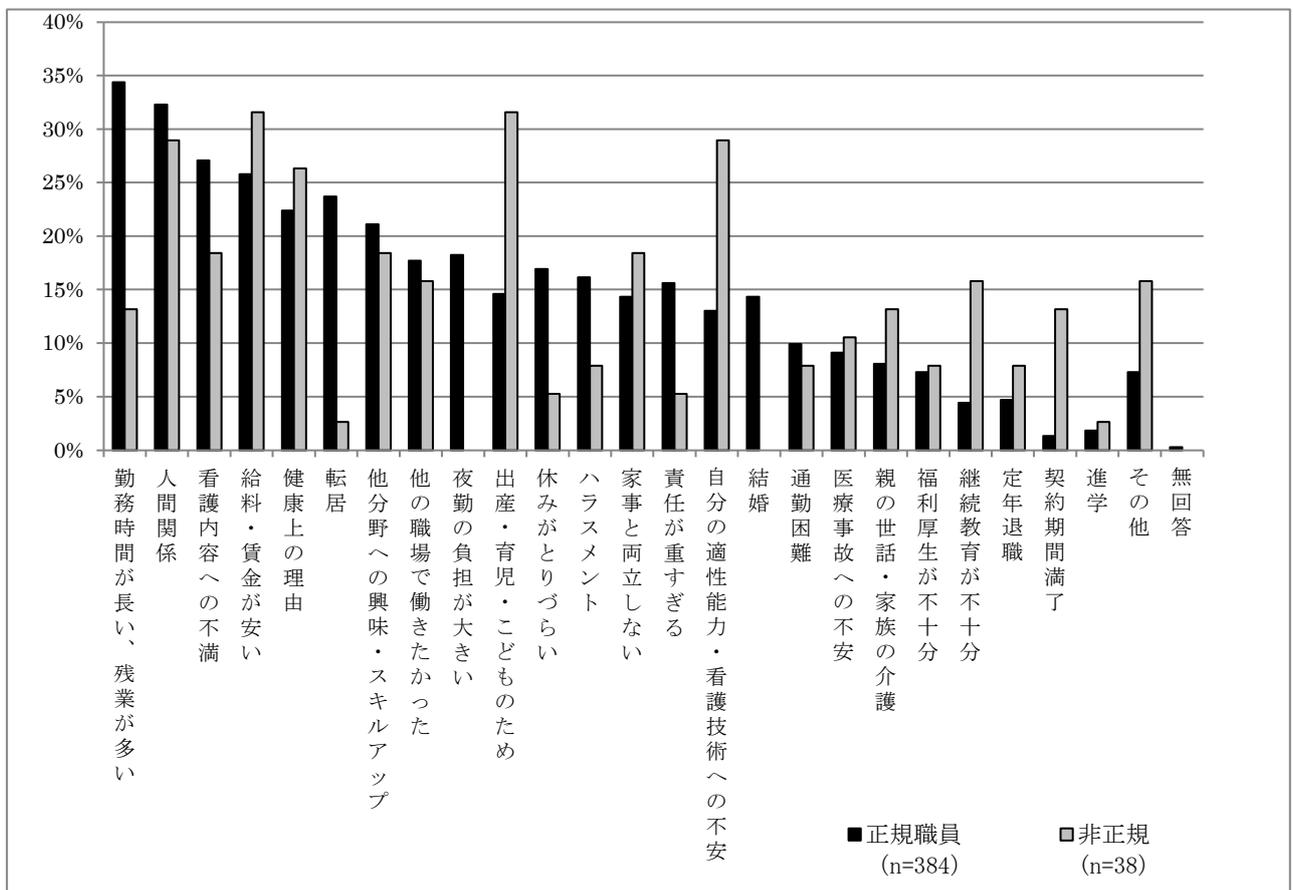


図2 離職理由 一雇用形態別一

表 15 離職理由—年齢別—

項目	～29歳 (n=179)		30～39歳 (n=97)		40～49歳 (n=54)		50～59歳 (n=45)		60歳以上 (n=46)	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
勤務時間が長い、残業が多い (労働時間への不満)	72	40.2	30	30.9	16	29.6	11	24.4	7	15.2
人間関係	55	30.7	31	32.0	19	35.2	17	37.8	12	26.1
看護内容への不満	35	19.6	27	27.8	22	40.7	19	42.2	7	15.2
給料・賃金が安い	50	27.9	26	26.8	13	24.1	11	24.4	11	23.9
健康上の理由	40	22.3	15	15.5	13	24.1	14	31.1	14	30.4
転居	57	31.8	27	27.8	3	5.6	4	8.9	1	2.2
他分野への興味・スキルアップ	48	26.8	17	17.5	17	31.5	3	6.7	3	6.5
他の職場で働きたかった	39	21.8	14	14.4	14	25.9	6	13.3	1	2.2
夜勤の負担が大きい	31	17.3	17	17.5	8	14.8	11	24.4	3	6.5
出産・育児・こどものため	23	12.8	38	39.2	6	11.1	1	2.2	0	0
休みがとりづらい	29	16.2	17	17.5	7	13.0	8	17.8	6	13.0
ハラスメント	20	11.2	12	12.4	11	20.4	11	24.4	11	23.9
家事と両立しない	23	12.8	21	21.6	9	16.7	7	15.6	2	4.3
責任が重すぎる	33	18.4	10	10.3	7	13.0	6	13.3	6	13.0
自分の適性能力・看護技術への不安	31	17.3	14	14.4	4	7.4	7	15.6	4	8.7
結婚	41	22.9	13	13.4	1	1.9	0	0	0	0
通勤困難	15	8.4	15	15.5	7	13.0	4	8.9	0	0
医療事故への不安	16	8.9	5	5.2	4	7.4	5	11.1	8	17.4
親の世話・家族の介護	6	3.4	3	3.1	6	11.1	10	22.2	11	23.9
福利厚生が不十分	12	6.7	9	9.3	2	3.7	5	11.1	3	6.5
継続教育が不十分	11	6.1	3	3.1	6	11.1	2	4.4	1	2.2
定年退職	0	0	0	0	0	0	0	0	21	45.7
契約期間満了	2	1.1	0	0	0	0	0	0	8	17.4
進学	5	2.8	2	2.1	1	1.9	0	0	0	0
その他	9	5.0	7	7.2	8	14.8	4	8.9	6	13.0
無回答	1	0.6	0	0	0	0	0	0	0	0

 上位3位まで

(10) 離職理由「人間関係」について（表 16-1、表 16-2）

昨年度、一昨年度 2 年連続で離職理由 1 位であったが、今年度は僅差ではあるが 2 位であった。未既婚別では離死別者が 52.4%と突出して多かった。また、未婚者の方が既婚者より 10%多かった。雇用形態別での有意差はみられなかった。年齢別では 30 歳代、40 歳代、50 歳代がそれぞれ 32.0%、35.2%、37.8%で離職理由の 2 位であった。20 歳未満～20 歳代、60 歳以上ではそれぞれ 30.7%、26.1%で 3 位であった。

人間関係が難しかった相手を複数回答してもらったところ、378 個の回答があった。

「上司（看護職）」が 109 人（80.7%）と最も多く 8 割を占めた。次いで「同僚」67 人（49.6%）、「医師」59 人（43.7%）であり、昨年度と同様の順位であった。

表 16-1 離職理由「人間関係」の相手  
（複数回答）

項目	人数	%
上司（看護職）	109	80.7
同僚	67	49.6
医師	59	43.7
患者	36	26.7
上司（看護職以外）	31	23.0
患者の家族	30	22.2
医師・看護職以外の 専門職	23	17.0
一般職員	23	17.0

表 16-2 人間関係において退職したいと感じた具体的な場面の内容

<上司（看護職）との人間関係>

- ・暴言、悪口、陰口を言われた（16）
- ・パワハラを受けた（10）
- ・無視された（4）
- ・部下の意見を聞く態度がなかった。相談しても何もしてくれなかった（2）
- ・スタッフを管理できていない、スタッフを守らない（2）
- ・上司の機嫌の良し悪しを伺いながらの仕事はとてもストレスになった
- ・相手によって態度を変える
- ・上司との看護観の違い

<同僚との人間関係>

- ・悪口、陰口を言われた。嫌がらせを受けた（9）
- ・同僚の威圧的な態度（5）
- ・無視された（3）
- ・年齢層が広く、それぞれの価値観の違いに悩み辛くなった（2）
- ・コミュニケーションがとれず、不安や悩みを相談できなかった（2）

<医師との人間関係>

- ・パワハラ、暴言（人間性を否定された）（7）
- ・指示の内容等について相談しづらかった
- ・医師のスタッフに対する明らかな対応の差別を感じた

<患者との人間関係>

- ・暴言、暴力（3）
- ・コミュニケーションをとることが難しかった

<その他>

- ・全体の雰囲気が悪い、チームワークが悪く看護観にずれがあった
- ・スタッフを大切にしない組織
- ・人を尊重できない人間がいること
- ・理不尽な異動が多い

(11) 離職理由「看護内容への不満」について（表 17、表 18）

離職理由に「看護内容への不満」と回答したのは 111 人（26.3%）で、離職理由の 3 位であった。年代別では 40 歳代、50 歳代がそれぞれ 40.7%、42.2%と最も多く、離職理由の 1 位であった。次いで 30 歳代が 27.8%であった。

その具体的内容で最も多かったのは、「施設（所属部署）の方針に納得できない」70 人（63.1%）であった。次いで「看護業務以外の仕事が多い」63 人（56.8%）、「患者中心の看護ができない」59 人（53.2%）であった。

表 17 「看護内容への不満」 具体的理由（複数回答）

n=111

項目	人数	%
施設（所属部署）の方針に納得できない	70	63.1
看護業務以外の仕事が多い	63	56.8
患者中心の看護ができない	59	53.2
患者とのコミュニケーションの時間がとれない	52	46.8
看護ケアの時間がとれない	48	43.2
感染管理、安全管理が不十分	30	27.0
診療補助業務が多い	26	23.4
その他	12	10.8
無回答	4	3.6

表 18 「看護内容への不満」の具体的理由  
－「その他」の内容－

- ・他分野への興味、看護技術のスキルアップ (2)
- ・自分の看護観に合った内容でなかった
- ・専門職の知識を活用できない
- ・介護業務が多い
- ・指示を出す医師がいない
- ・業務を教えてもらえない、させてもらえない
- ・人手不足、オーバーワーク
- ・コロナ対応ばかりさせられる
- ・記録・評価が多過ぎる

(12) 離職理由「給料・賃金が安い」について（表 19、表 20）

離職理由に「給料・賃金が安い」と回答したのは 111 人（26.3%）であった。年代別では 20 歳未満～20 歳代が 27.9%と最も多く、次いで 30 歳代が 26.8%で多かった。その内訳は、月給での回答が 71 人、時給が 10 人、無回答が 30 人であった。回答者の現在の給与額は最低が 115,000 円、最高が 259,000 円であり、平均 201,761 円であった。そして、希望する給与額は昨年度と同額の 250,000 円が 23 人と最も多く、次いで 230,000 円が 8 人、280,000 円が 6 人であった。現在の給与額と希望する給与の差額については、最も差が大きい回答は 190,000 円、一番差が小さい回答は 3,700 円、平均すると 45,885 円であり、昨年度の差額平均 39,405 円より若干上がった。

表 19 「給料・賃金が安い」を離職理由とした人の現在の給与額と希望する給与額（月給） n=71

現在の 給与額(円)	希望額(円)	希望額との 差額(円)	現在の 給与額(円)	希望額(円)	希望額との 差額(円)
115,000	222,000	107,000	207,000	230,000	23,000
120,000	200,000	80,000	208,000	230,000	22,000
131,850	200,000	68,150	210,000	400,000	190,000
138,000	250,000	112,000	210,000	250,000	40,000
142,200	180,000	37,800	210,000	280,000	70,000
160,000	200,000	40,000	210,000	250,000	40,000
167,400	無回答	—	210,000	250,000	40,000
170,000	210,000	40,000	210,000	230,000	20,000
174,080	270,000	95,920	210,000	230,000	20,000
179,000	230,000	51,000	212,000	250,000	38,000
180,000	無回答	—	220,000	300,000	80,000
180,000	200,000	20,000	220,000	280,000	60,000
180,000	250,000	70,000	220,000	240,000	20,000
185,600	200,000	14,400	220,000	250,000	30,000
188,000	無回答	—	220,000	240,000	20,000
190,000	250,000	60,000	220,000	280,000	60,000
190,000	250,000	60,000	220,000	250,000	30,000
190,000	250,000	60,000	220,000	280,000	60,000
190,000	230,000	40,000	220,000	250,000	30,000
190,000	220,000	30,000	220,000	250,000	30,000
190,000	200,000	10,000	220,000	250,000	30,000
190,000	195,000	5,000	220,000	250,000	30,000
190,000	250,000	60,000	220,000	250,000	30,000
195,200	200,000	4,800	221,230	無回答	—
196,000	220,000	24,000	222,000	250,000	28,000
196,000	200,000	4,000	223,800	250,000	26,200
196,300	200,000	3,700	230,000	280,000	50,000
198,000	240,000	42,000	236,000	350,000	114,000
200,000	300,000	100,000	239,400	300,000	60,600
200,000	無回答	—	240,000	300,000	60,000
200,000	230,000	30,000	240,000	280,000	40,000
200,000	250,000	50,000	247,000	270,000	23,000
200,000	250,000	50,000	247,000	無回答	—
200,000	250,000	50,000	250,000	300,000	50,000
200,000	230,000	30,000	259,000	270,000	11,000
200,000	250,000	50,000			

表 20 現在の給与額と希望額（時給）

n=10

現在の給与額（円）	希望額（円）	希望額との差額（円）	現在の給与額（円）	希望額（円）	希望額との差額（円）
1,190	1,300	110	1,350	無回答	—
1,200	1,400	200	1,365	1,500	135
1,280	1,600	320	1,380	1,550	170
1,300	無回答	—	1,420	2,000	580
1,350	1,500	150	1,420	1,800	380

## (13) 離職理由「結婚」・「出産・育児・こどものため」について（表 21）

離職理由で「結婚」、「出産・育児・こどものため」と回答した 123 人の具体的理由は、昨年度と同様に「家事との両立に自信がない」71 人（57.7%）が最も多く、次いで「通勤に不便」60 人（48.8%）が多かった。

表 21 「結婚」「出産・育児・こどものため」を理由に退職した人の具体的理由（3 個まで回答可） n=123

項目	人数	%
家事との両立に自信がない	71	57.7
通勤に不便	60	48.8
夜勤の負担が大きい	42	34.1
自分の健康管理ができない	40	32.5
配偶者の理解がない	14	11.4
無回答	8	6.5

## (14) 離職理由「出産・育児・こどものため」について（表 22）

離職理由で「出産・育児・こどものため」と回答した 68 人の具体的理由上位 3 位は、「家族と過ごす時間が確保できない」40 人（58.8%）、「こどもの養育に集中したい」31 人（45.6%）、「保育所に迎えに行く時間までに業務が終了しない」26 人（38.2%）であった。また、「その他」の内容は、「妊活のため」、「通勤時間の関係で保育所への送迎ができない」、「配偶者が三交代勤務のため」「コロナ感染症による学級閉鎖が続く、有給休暇だけでは対応できなかった」などであった。

表 22 「出産・育児・こどものため」を理由に退職した人の具体的理由（3 個まで回答可） n=68

項目	人数	%
家族と過ごす時間が確保できない	40	58.8
こどもの養育に集中したい	31	45.6
保育所に迎えに行く時間までに業務が終了しない	26	38.2
こどもの急な病気等で休みがとりづらい	19	27.9
子育てに家族の理解・協力が得られない	9	13.2
保育所（こどもの世話をしてくれる人）が確保困難	8	11.8
こどもを保育所など他人に預けてまで働きたくない	5	7.4
夜間・病児保育がない（利用困難）	2	2.9
学童保育がない（利用困難）	1	1.5
その他	10	14.7
無回答	8	11.8

(15) 離職理由「親の世話・家族の介護」について（表 23）

離職理由で「親の世話・家族の介護」と回答した 36 人の具体的理由は、「他の介助者がいない」21 人（58.3%）、「自分で介護したい」19 人（52.8%）の順が多かった。また、「その他」の内容では、「精神面の世話が大変」、「通院のための休みがとりづらい」などであった。

表 23 「親の世話・家族の介護」を理由に離職した人の具体的理由（2 個まで回答可） n=36

項目	人数	%
他の介助者がいない	21	58.3
自分で介護したい	19	52.8
家族の協力がいない	7	19.4
入院・入所施設がない	5	13.9
その他	5	13.9
無回答	2	5.6

(16) 離職理由「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」の時間外勤務（残業）について（表 24-1、表 24-2、表 24-3）

離職理由に「勤務時間が長い、残業が多い（労働時間への不満）」と回答したのは 137 人であり、時間外勤務の頻度で最も多かったのは「ほぼ毎日」が 81 人（59.1%）と 6 割を占めていた。次いで「1 週間に 2～3 日」32 人（23.4%）であった。1 日の時間外勤務は「1～2 時間」58 人（42.3%）が最も多く、次いで「30 分～1 時間」43 人（31.4%）であった。時間外勤務手当の支給状況については、「ほぼ支給されていた」58 人（42.3%）が最も多く、次いで「ほとんど支給されていなかった」25 人（18.2%）であった。「全く支給されなかった」とした回答も 8.0%あった。

表 24-1 「勤務時間が長い、残業が多い」を理由に退職した人の時間外勤務の頻度 n=137

項目	人数	%
ほぼ毎日	81	59.1
1 週間に 2～3 日	32	23.4
1 週間に 1 日程度	7	5.1
特別な事情があった時	4	2.9
その他	3	2.2
無回答	10	7.3

表 24-2 「勤務時間が長い、残業が多い」とした人の 1 日あたりの時間外勤務の時間 n=137

項目	人数	%
30 分以内	5	3.6
30 分～1 時間	43	31.4
1～2 時間	58	42.3
2 時間以上	22	16.1
無回答	9	6.6

表 24-3 「勤務時間が長い、残業が多い」を理由に退職した人の時間外勤務手当支給状況 n=137

項目	人数	%
全額支給されていた	17	12.4
ほぼ支給されていた	58	42.3
ほとんど支給されていなかった	25	18.2
全く支給されなかった	11	8.0
その他	14	10.2
無回答	12	8.8

(17) どのような条件が整えば、仕事ができただかについて（表 25、表 26）

複数回答で聞いたところ、延べ1,287個の回答があり、一人平均3.0個であった。仕事継続要因上位5位は、「人間関係がよい」155人（36.7%）、「残業が少ない」135人（32.0%）、「休みがとりやすい」126人（29.9%）、「自分の希望する給与」120人（28.4%）、「柔軟な勤務形態の導入」91人（21.6%）であり、昨年度と同様の順位であった。

また、「その他」の内容は、「職場環境」、「自身の体調」、「転居」などであった。

表 25 仕事継続要因（どのような条件が整えば仕事が継続できたか）（5個まで回答可）

項目	R4年度 n=422		R3年度 n=505	
	人数 (%)	順位	人数 (%)	順位
人間関係がよい	155 (36.7)	1	190 (37.6)	1
残業が少ない	135 (32.0)	2	135 (26.7)	2
休みがとりやすい	126 (29.9)	3	127 (25.1)	3
自分の希望する給与	120 (28.4)	4	125 (24.8)	4
柔軟な勤務形態の導入	91 (21.6)	5	108 (21.4)	5
福利厚生が充実	74 (17.5)	6	88 (17.4)	8
通勤に便利な職場	72 (17.1)	7	91 (18.0)	6
看護内容が充実している	71 (16.8)	8	67 (13.3)	9
自分の能力が活かせる	58 (13.7)	9	59 (11.7)	10
仕事の悩みを相談できる人がいる	56 (13.3)	10	90 (17.8)	7
夜勤回数が少ない	42 (10.0)	11	41 (8.1)	13
医療安全対策が充実している	41 (9.7)	12	29 (5.7)	16
夜勤がない	37 (8.8)	13	50 (9.9)	11
望むキャリアを積むことができる	37 (8.8)	13	47 (9.3)	12
継続教育が充実している	31 (7.3)	15	32 (6.3)	15
家族の協力が得られる	28 (6.6)	16	41 (8.1)	13
ローテーションに希望を取り入れてくれる	26 (6.2)	17	12 (2.4)	19
育児制度が利用できる	15 (3.6)	18	24 (4.8)	17
資格取得支援がある	11 (2.6)	19	11 (2.2)	20
保育所が近くにある	10 (2.4)	20	15 (3.0)	18
介護休暇がとれる	5 (1.2)	21	8 (1.6)	21
その他	46 (10.9)		67 (13.3)	

表 26 仕事継続要因（どのような条件が整えば仕事が継続できたか）の「その他」の内容

・職場環境（15人）	・自身の体調（8人）	・転居（8人）
・賃金アップ（3人）	・看護師以外の仕事に就きたい（3人）	・自分自身の問題のため続けられない
・どんな条件でも辞めていた		

### 3. 現在の状況

#### (1) 再就業の有無について (表 27)

既に看護職として再就業している人は 133 人 (31.5%)、再就業予定の人は 88 人 (20.9%) であった。再就業していない人は 189 人 (44.8%) で、昨年度に比べ約 8% 減少した。

表 27 再就業の有無 n=422

項目	人数	%
再就業している	133	31.5
再就業していない	189	44.8
再就業予定	88	20.9
無回答	12	2.8

#### (2) 再就業者の職種、雇用・勤務形態

##### ① 職種 (表 28-1)

再就業者の職種は、「看護師」123 人 (92.5%) とほとんどであった。

##### ② 雇用形態 (表 28-2)

再就業者の雇用形態は、「正規職員 (フルタイム勤務)」108 人 (81.2%)、「正規職員 (短時間勤務)」4 人 (3.0%)、「非正規職員」16 人 (12.0%) であった。

##### ③ 勤務形態 (表 28-3)

正規職員 (フルタイム勤務) として再就業した人の勤務形態は、「日勤のみ」40 人 (37.0%)、「三交代制」36 人 (33.3%)、「二交代制」18 人 (16.7%) であった。非正規職員として再就業した人の勤務形態は、「日勤のみ」10 人 (62.5%)、「短時間勤務」4 人 (25.0%) であった。

表 28-1 再就業者の職種 n=133

項目	人数	%
看護師	123	92.5
保健師	3	2.3
助産師	3	2.3
准看護師	3	2.3
無回答	1	0.8

表 28-2 再就業者の雇用形態 n=133

項目	人数	%
正規職員 (フルタイム勤務)	108	81.2
正規職員 (短時間勤務)	4	3.0
非正規職員	16	12.0
派遣	3	2.3
無回答	2	1.5

表 28-3 再就業者の勤務形態 (雇用形態別)

項目	正規職員 (フルタイム勤務) n=108		正規職員 (短時間勤務) n=4		非正規職員 n=16	
	人数	%	人数	%	人数	%
日勤のみ	40	37.0	3	75.0	10	62.5
二交代制	18	16.7	0	0	0	0
三交代制	36	33.3	0	0	1	6.3
ミックス (二交代制と三交代制)	8	7.4	0	0	0	0
短時間勤務	0	0	1	25.0	4	25.0
夜勤のみ	2	1.9	0	0	0	0
その他	4	3.7	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	1	6.3

(3) 再就業していない理由について (表 29、表 30)

再就業していない 189 人に、その理由を複数回答で聞いたところ、延べ 245 個、一人あたり約 1.3 個の回答があった。その理由の上位 3 位は、「適当な職場がない」65 人 (34.4%)、「自分の健康上の理由」58 人 (30.7%)、「働く意思がない」38 人 (20.1%) であり、昨年度と同様の順位であった。「その他」の内容は、「他職種への転職」、「休養、リフレッシュ中」、「求職中」、「子育てのため」などであった。

表 29 再就業していない理由  
(3 個まで回答可) n=189

項目	人数	%
適当な職場がない	65	34.4
自分の健康上の理由	58	30.7
働く意思がない	38	20.1
出産・育児	27	14.3
高齢のため	21	11.1
家族の介護	19	10.1
結婚	18	9.5
進学	7	3.7
家族の協力がいない	1	0.5
その他	56	29.6
無回答	6	3.2

表 30  
再就業していない理由「その他」の内容

・他職種への転職 (15 人)
・休養、リフレッシュ中 (12 人)
・求職中 (9 人)
・子育てのため (4 人)
・海外 (留学) へ行くため (3 人)
・転居 (3 人)
・体調次第 (2 人)
・今後の予定が未定のため (2 人)
・離職して間もないため
・次の職場をどのように探せばよいか悩んでいる

(4) 再就業の意思と希望時期

①再就業の意思 (表 31-1)

再就業していない 189 人のうち、「看護職として再就業の意思がある」は 98 人 (51.9%)、「再就業の意思がない」は 69 人 (36.5%)、「わからない」は 19 人 (10.1%) であり、昨年度のそれらは、56.4%、33.5%、9.0%であった。

②再就業の希望時期 (表 31-2)

再就業の意思のある 98 人に再就業の時期について聞いたところ、離職後「3 か月以内」が 32 人 (32.7%) と最も多く、次いで「6 か月以内」25 人 (25.5%)、「1 年以内」19 人 (19.4%) であり、約 8 割の人が 1 年以内に再就業を希望すると回答した。

表 31-1 再就業の意思の有無 n=189

項目	人数	%
有	98	51.9
無	69	36.5
わからない	19	10.1
無回答	3	1.6

表 31-2 再就業までの希望時期 n=98

項目	人数	%
3 か月以内	32	32.7
6 か月以内	25	25.5
1 年以内	19	19.4
1~3 年	16	16.3
その他	6	6.1

(5) 再就業するための条件 (表 32)

再就業する意思のある 98 人に再就業のための条件を聞いたところ、延べ 284 個、一人あたり 2.9 個の回答があった。上位 5 位は、「人間関係が良い」57 人 (58.2%)、「休みがとりやすい」45 人 (45.9%)、「時間外勤務が少ない」26 人 (26.5%)、「短時間勤務等柔軟な勤務形態がある」及び「夜勤がなく日勤勤務である」がともに 21 人 (21.4%) であり、1 位から 3 位は昨年度と同様であった。また、「人間関係が良い」は 6 年連続で 1 位であった。

表 32 再就業するための条件 (3 個まで回答可)

項目	R4 年度 n=98		R3 年度 n=150	
	人数 (%)	順位	人数 (%)	順位
人間関係が良い	57 (58.2)	1	89 (59.3)	1
休みがとりやすい	45 (45.9)	2	61 (40.7)	2
時間外勤務が少ない	26 (26.5)	3	41 (27.3)	3
短時間勤務等柔軟な勤務形態がある	21 (21.4)	4	29 (19.3)	6
夜勤がなく日勤勤務である	21 (21.4)	4	36 (24.0)	4
通勤に便利な職場	18 (18.4)	6	33 (22.0)	5
福利厚生が充実している	15 (15.3)	7	29 (19.3)	6
自分が希望する給料	14 (14.3)	8	27 (18.0)	8
自分の能力が活かせる	11 (11.2)	9	20 (13.3)	9
安全に配慮された職場環境	11 (11.2)	9	10 (6.7)	13
自分の体調調整(健康状態)	11 (11.2)	9	19 (12.7)	10
悩みを相談できる人(制度)がいる	6 (6.1)	12	9 (6.0)	14
育児支援制度が利用しやすい	5 (5.1)	13	9 (6.0)	14
看護内容が充実している	5 (5.1)	13	14 (9.3)	11
ハラスメント対策ができています	5 (5.1)	13	12 (8.0)	12
家族の条件(親やこどもの健康)	4 (4.1)	16	9 (6.0)	14
夜勤が少ない	3 (3.1)	17	4 (2.7)	19
院内保育がある	2 (2.0)	18	4 (2.7)	19
継続教育が充実している	2 (2.0)	18	5 (3.3)	17
介護休暇がとりやすい	1 (1.0)	20	2 (1.3)	22
キャリア支援、資格取得支援がある	1 (1.0)	20	5 (3.3)	17
家族の理解	0	22	4 (2.7)	19
その他	0		2 (1.3)	

(6) 再就業時、希望する職場 (表 33)

再就業を希望する 98 人が希望する職場は、複数回答で「回復期・療養型病院」46 人 (46.9%)、「診療所」43 人 (43.9%)、「介護保険・福祉施設」35 人 (35.7%) の順で多かった。

(7) 再就業時、希望する雇用形態と勤務形態（表 34-1、表 34-2）

再就業を希望する 98 人が希望する雇用形態は、複数回答で「正規職員（フルタイム）」73 人（74.5%）、「正規職員（短時間）」47 人（48.0%）、「非正規職員」30 人（30.6%）であり、約 7 割の人が「正規職員（フルタイム）」を希望すると回答した。

また、再就業を希望する 98 人が希望する勤務形態は、複数回答で「日勤のみ」74 人（75.5%）、「交代制勤務」42 人（42.9%）、「短時間勤務」33 人（33.7%）の順で多かった。

表 33 希望する職場（2 個まで回答可） n=98

項目	人数	%
回復期・療養型病院	46	46.9
診療所	43	43.9
介護保健・福祉施設	35	35.7
急性期病院（300 床以下）	26	26.5
訪問看護ステーション	18	18.4
急性期病院（300 床以上）	14	14.3
会社・事業所	13	13.3
行政（県・市町村）	12	12.2
看護教育機関	6	6.1
その他	19	19.4
無回答	3	3.1

表 34-1 希望する雇用形態（複数回答） n=98

項目	人数	%
正規職員（フルタイム）	73	74.5
正規職員（短時間）	47	48.0
非正規職員	30	30.6
派遣	11	11.2
その他	2	2.0

表 34-2 希望する勤務形態（複数回答） n=98

項目	人数	%
日勤のみ	74	75.5
交代制勤務	42	42.9
短時間勤務	33	33.7
夜勤専従	7	7.1
その他	1	1.0
無回答	1	1.0

#### 4. 看護師等の離職時等の届出制度について

(1) 看護師等の離職時等の届出制度について（表 35）

看護師等人材確保法による看護師等の離職時等の届出制度について、「説明を受けた」は 272 人（64.5%）、「説明を受けなかった」は 140 人（33.2%）であった。「説明を受けた」人は、昨年度の 67.9%よりわずかに減少した。

(2) 届出の努力義務化について（表 36）

2015 年 10 月 1 日から法律改正により離職時の届出が努力義務化になったことについて、「知っている」は 166 人（39.3%）であり、昨年度の 44.2%より若干減少した。

表 35 離職時等の届出制度について n=422

項目	人数	%
説明を受けた	272	64.5
説明を受けなかった	140	33.2
無回答	10	2.4

表 36 届出の努力義務化 n=422

項目	人数	%
知っている	166	39.3
知らない	249	59.0
無回答	7	1.7

## 5. 岡山県ナースセンターについて

### (1) 岡山県ナースセンターの認知度（表 37-1、表 37-2、表 37-3）

岡山県ナースセンターについて「知っている」は 327 人（77.5%）、「知らない」は 90 人（21.3%）であった。「知っている」と回答した 327 人について、「利用したことがある」は 108 人（33.0%）、「利用したことはない」は 219 人（67.0%）であった。ナースセンターを知っている人の割合は、昨年度より若干下がった。

また、岡山県ナースセンターについて「知っている」と回答した 327 人について、何によって知ったかを尋ねたところ、「ポスターやチラシ」73 人（22.3%）が最も多く、次いで「研修会で説明を受けた」72 人（22.0%）、「ホームページ」55 人（16.8%）であった。

表 37-1 ナースセンターの認知度 n=422

項目	人数	%
知っている	327	77.5
知らない	90	21.3
無回答	5	1.2

表 37-2 ナースセンターの認知度

（利用状況）

n=327

項目	人数	%
利用したことがある	108	33.0
利用したことはない	219	67.0

表 37-3 ナースセンターの認知度

（何によって知ったか）（複数回答）

n=327

項目	人数	%
ポスターやチラシ	73	22.3
研修会で説明を受けた	72	22.0
ホームページ	55	16.8
学校での授業や説明会	54	16.5
職場での説明会	49	15.0
ハローワーク	25	7.6
職場の同僚	21	6.4
就職フェア・看護フェア	15	4.6
その他	12	3.7
無回答	38	11.6

### (2) 岡山県ナースセンターの利用内容（表 38）

岡山県ナースセンターの利用内容について回答数の多い順にあげると、「就業相談を受けた」40 人（37.0%）、「e ナースセンター（無料職業紹介サイト）へアクセスした」38 人（35.2%）、「セミナーに参加した」29 人（26.9%）、「技術講習会を受けた」17 人（15.7%）であった。

表 38 ナースセンターの利用内容

（複数回答）

n=108

項目	人数	%
就業相談を受けた	40	37.0
「e ナースセンター（無料職業紹介サイト）」へアクセスした	38	35.2
セミナーに参加した	29	26.9
技術講習会を受けた	17	15.7
「とどけるん」にアクセスした	8	7.4
その他	1	0.9
無回答	6	5.6

(3) ナースセンターを利用しなかった理由  
(表 39)

「ナースセンターを利用したことはない」219人について、その理由の上位3位は、「すでに就職が決まっている」85人(38.8%)、「県外に転出する」及び「他の職業紹介所を利用する」がともに35人(16.0%)であった。「その他」の内容は、「自分で再就業先を見つけた」、「今回初めて離職したため」、「利用方法がよくわからなかった」、「ゆっくり考えたい」などであった。

表 39 ナースセンターを利用しなかった理由

(複数回答) n=219

項目	人数	%
すでに就職が決まっている	85	38.8
県外に転出する	35	16.0
他の職業紹介所を利用する	35	16.0
職場復帰予定だが時期が未定	23	10.5
何らかの理由で働くことができない	9	4.1
個人情報登録することに不安がある	9	4.1
働く意思がない	7	3.2
離職後間もないため	41	18.7
その他	9	4.1
無回答	22	10.0

(4) ナースセンターへの期待や要望

ナースセンターへの期待や要望について聞いたところ、記述形式で20人(4.7%)から回答があった。その内容は下記のとおりであった。

① 求職相談、eナースセンター(無料職業紹介サイト)について

- ・条件に合った職場を紹介してほしい。
- ・地域ごとに分かれた就職説明会をしてほしい。
- ・職場見学をしてほしい。
- ・看護師免許が活かせる職業(病院、クリニック、施設以外)について教えてほしい。
- ・就活時にパワハラをする人がいる職場は紹介しないでほしい。
- ・ナースセンターがどのようなことを行っているのか定期的にチラシなどで知らせてほしい。

② 職場環境

- ・看護師の待遇改善(看護師を増やして安全な看護ができるようにしてほしい)
- ・人手が不足なく多忙なので、給料をもう少し上げてほしい。
- ・月8回以上の夜勤は禁止してほしい。
- ・時間外手当は全て支給してほしい。
- ・有給休暇を自由に取得できない等労働者にとっての当然の権利を与えていない古い体制の病院が多々あるため、改善を望む。
- ・一人ひとりがのびのびと看護できる場所が一つでも多くあることを願う。

③ 研修・講習会について

- ・無料の講習会を増やしてほしい。
- ・保育園看護師について、勤務内容や必要な看護技術についての講習会があればよいと思う。
- ・救命救急の講習会を希望する。
- ・所属施設の推薦無しで受講できるキャリアアップ研修をお願いしたい。

④ その他

- ・仕事が辛くて話を聞いてもらいたい時に相談できたら良かった(ナースセンターで相談できることを知らなかった)。

# 資 料

1. 看護職員離職者実態調査に関して
  - ・施設長への依頼文書
  - ・退職者個人への依頼文書
  - ・看護職員離職者実態調査票
2. 看護師等の離職時等の届出制度のご案内
3. e ナースセンター登録、利用のご案内

# 1. 看護職員離職者実態調査に関して

岡看協第 7005 号  
令和 4 年 4 月 1 日

施設代表者 様  
看護職代表者 様

公益社団法人 岡山県看護協会  
会 長 宮 田 明 美  
(公印省略)

令和 4 年度 看護職員離職者実態調査実施について(依頼)

謹啓 陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、当協会事業につきまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も標記調査を県の委託を受けて、別紙要項のとおり実施いたします。

つきましては、貴施設を退職する方に、同封の調査票ならびに返信用封筒をお一人一部お渡しください。併せて岡山県ナースセンターについてご案内いただき、再就職の際の利用を勧めていただけますと幸いです。

なお、調査票等が不足した場合は、下記連絡先までご連絡ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

## 1 配布書類

(1) 看護職員離職者実態調査実施要項

(2) 配布枚数記入用紙

※令和 4 年度中に、貴施設を退職した方へ配布した調査票の合計数を FAX または郵送で 2023 年 4 月 11 日(月)までにお知らせください。

(3) 退職者への配布書類

## 2 退職者へお渡しいただきたい書類

(1) 退職者用依頼文+看護職員離職者実態調査票(ホチキス留)

(2) 岡山県ナースセンターのご案内(チラシ)

(3) 返信用封筒

### 【問い合わせ先】

(公社) 岡山県看護協会 岡山県ナースセンター  
〒700-0805 岡山市北区兵団 4 番 39 号  
TEL. 086-226-3639 FAX. 086-226-0341  
E-mail : okayama@nurse-center.net

退職された方 へ

公益社団法人 岡山県看護協会  
会 長 宮 田 明 美  
(公印省略)

## 令和 4 年度 看護職員離職者実態調査ご協力のお願い

- 目的 : 離職の理由や勤務状況を把握し、働きやすい職場環境づくり、就業支援を行うため
- 対象 : 県内の病院・訪問看護ステーションを退職した看護職員の方
- 方法 : 同封の返信用封筒に入れて投函してください(退職後 1 か月以内)

**※回収いたしましたアンケート用紙は上記の目的以外に使用することはありません。**

**いただいた調査結果は厳重に管理し、個人が特定されることはありません。**

調査結果をご希望される方は、下記連絡先までご連絡ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 再就職のご相談はナースセンターへ

岡山県ナースセンターでは、相談員(看護職)が個人情報秘密厳守で看護職の方々の再就職に向けて、就業相談・復職のための講習会等の支援を行っております。詳しくは、添付のチラシ『岡山県ナースセンターとは』をご覧ください。ナースセンターは、すべての看護職を応援しています。

❖ 定年等で退職後も、働き方を変えて訪問看護や介護施設等での看護に従事しませんか。岡山県ナースセンターにご相談ください。

#### 【 相談日時のご案内 】

- ❖ 岡山県ナースセンター 月曜日～金曜日 9:00～16:00
- ❖ ハローワーク岡山移動相談 毎週木曜日 9:30～12:30
- ❖ ハローワーク倉敷中央移動相談 第一・三火曜日 13:00～15:00  
(人材確保・就職支援コーナー倉敷わかものハローワーク内)
- ❖ ハローワーク津山移動相談 第一・三火曜日 9:30～12:00

#### 【問い合わせ先】

(公社)岡山県看護協会 岡山県ナースセンター  
〒700-0805 岡山市北区兵団 4 番 39 号  
TEL.086-226-3639 FAX.086-226-0341  
E-mail : okayama@nurse-center.net

## 令和4年度 看護職員離職者実態調査票

(対象者：退職日が2022年4月1日～2023年3月31日の看護職の方)

\*該当する項目に○をつけてください。( )内には数字または文字を記入してください。また、右の記入欄がある場合は、優先順位の高い順に記入してください。

問1 退職年月 ( 年 月)

問2 現住所 1. 岡山県内 2. 岡山県外

問3 年齢 1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳  
5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65～70歳 8. 71歳以上

問4 性別 1. 男性 2. 女性

問5 結婚 1. 未婚 2. 既婚 3. 離死別

問6 家族状況 1)-① お子さんはいますか。

1. はい 2. いいえ → 2)-①へ

1)-② 一番下のお子さん は次のうちどれに該当しますか。

1. 未就学児 2. 小学生 3. 中学生以上

2)-① 家族の中に現在、介護を必要とする人がいますか。(同居に限らない)

1. はい 2. いいえ

2)-② 1. はいと答えられた方にお聞きします。要介護者はどなたですか。(複数回答可)

1. 父母 2. 祖父母 3. 子供 4. 配偶者 5. その他( )

## ◆離職時の状況について

問7 1) 離職時の職種 1. 保健師 2. 助産師 3. 看護師 4. 准看護師

2) 離職した施設 1. 病院 2. 訪問看護ステーション 3. その他( )

問8 離職時の雇用状態 1. 正規職員(フルタイム勤務) 2. 正規職員(短時間勤務)  
3. 非正規職員 4. 派遣

※注 「正規職員」とは、施設が直接雇い入れたものであって、施設が定めた所定労働時間をすべて勤務する者であり契約期間が限定されていない者をいう。「非正規職員」とは、パートタイマー、アルバイト、嘱託、臨時職員などの名称にかかわらず、「正規職員」「派遣」に該当しない者をいう。「派遣」とは、派遣会社から派遣されている者をいう。

問9 離職時の勤務形態 1. 日勤のみ 2. 三交代制 3. 二交代制  
4. ミックス(二交代制と三交代制)  
5. 短時間勤務(1日 時間または週 時間)  
※1日または週どちらかの時間を記入してください。  
6. 夜勤のみ 7. その他( )

問 10 看護職として免許取得後通算して何年勤務 しましたか。

1. 1年未満      2. 1～3年      3. 4～6年      4. 7～9年  
5. 10～14年      6. 15～19年      7. 20年以上

問 11 今回離職した施設では何年勤務 しましたか。

1. 1年未満      2. 1～3年      3. 4～6年      4. 7～9年  
5. 10～14年      6. 15～19年      7. 20年以上

問 12 1) 今回 離職した施設を含み、今まで勤務した施設の数 はいくつですか。

1. 1施設      2. 2施設      3. 3施設      4. 4施設  
5. 5施設      6. 6～9施設      7. 10施設以上

2) 離職した施設はどなたに紹介 してもらいましたか。(複数回答可)

1. ハローワーク      2. ナースセンター      3. 民間職業紹介所      4. 知人  
5. 自分で探した      6. 出身学校(専門学校・大学等)      7. その他( )

問 13 今回の施設での 離職理由を5つまで 選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 定年退職      2. 契約期間満了      3. 結 婚  
4. 出産・育児・子供のため      5. 転居      6. 親の世話・家族の介護  
7. 家事と両立しない      8. 健康上の理由      9. 人間関係      10. ハラスメント  
11. 看護内容への不満      12. 給料・賃金が安い      13. 勤務時間が長い、残業が多い  
(労働時間への不満)

1	
2	
3	
4	
5	

14. 夜勤の負担が大きい      15. 自分の適性能力・看護技術への不安      16. 他の職場で働きたかった  
17. 責任が重すぎる      18. 医療事故への不安      19. 福利厚生が不十分  
20. 継続教育が不十分      21. 休みがとりづらい      22. 通勤困難  
23. 他分野への興味・スキルアップ      24. 進学      25. その他( )

問 14 問 13で 「3. 結婚」「4. 出産・育児・子供のため」に○をつけられた方 におたずねします。  
その具体的理由を 3つまで 選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 配偶者の理解がない      2. 家事との両立に自信がない      3. 自分の健康管理ができない  
4. 夜勤の負担が大きい      5. 通勤に不便

1	
2	
3	

問 15 問 13で 「4. 出産・育児・子供のため」に○をつけられた方 におたずねします。  
その具体的理由を 3つまで 選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 保育所(または子供の世話をしてくれる人)が確保困難      2. 学童保育がない(利用困難)  
3. 夜間・病児保育がない(利用困難)      4. 保育所に迎えに行く時間までに業務が終了しない  
5. 子供の急な病気等で休みがとりづらい      6. 子供の養育に集中したい  
7. 子育てに家族の理解・協力が得られない      8. 家族と過ごす時間が確保できない  
9. 子供を保育所など他人に預けてまで働きたくない      10. その他( )

1	
2	
3	



問 20 問 13 で「13. 勤務時間が長い、残業が多い」に○をつけられた方 におたずねします。  
時間外勤務（残業）についてお答えください。

- 1) 時間外勤務はどのくらいでしたか。
  1. ほぼ毎日
  2. 1週間に2～3日
  3. 1週間に1日程度
  4. 特別な事情があった時
  5. その他 ( )
- 2) 1日の時間外勤務はどのくらいでしたか。
  1. 30分以内
  2. 30～1時間
  3. 1～2時間
  4. 2時間以上
- 3) 時間外勤務手当ては支給されていましたか。
  1. 全額支給されていた
  2. ほぼ支給されていた
  3. ほとんど支給されていなかった
  4. 全く支給されなかった
  5. その他 ( )

問 21 どのような条件が整えば、仕事を続けられましたか。主な理由を 5つまで 選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 保育所が近くにある
2. 育児制度が利用できる
3. 介護休暇がとれる
4. 家族の協力が得られる
5. 仕事の悩みを相談できる人がいる
6. 人間関係がよい
7. 看護内容が充実している
8. 医療安全対策が充実している
9. 自分の希望する給与
10. 残業が少ない
11. 柔軟な勤務形態の導入
12. 夜勤回数が少ない
13. 夜勤がない
14. 自分の能力を活かせる
15. 福利厚生が充実
16. 継続教育が充実している
17. 望むキャリアを積むことができる
18. 休みがとりやすい
19. ローテーションに希望を取り入れてくれる
20. 資格取得支援がある
21. 通勤に便利な職場
22. その他 ( )

1	
2	
3	
4	
5	

### ◆現在の状況について

問 22 現在の就業状況

1)-① 看護職として、再就業していますか。

1. は い    2. いいえ    3. 現在は働いていないが、近々再就業することが決まっている



1)-② 職種は次のうちどれですか。

1. 保健師    2. 助産師    3. 看護師    4. 准看護師

2) 雇用形態は次のうちどれですか。

1. 正規職員(フルタイム勤務)    2. 正規職員(短時間勤務)  
3. 非正規職員    4. 派遣

3) 勤務形態は次のうちどれですか。

1. 日勤のみ    2. 三交代制    3. 二交代制  
4. ミックス(二交代制と三交代制)    5. 短時間勤務(1日 時間または週 時間)

※1日または週のどちらかの時間を記入してください。

6. 夜勤のみ    7. その他 ( )

問 23 問 22-1) -①で 「2. いいえ」と答えられた方 におたずねします。

1) 現在看護職として働いていない理由を 3つまで 選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 結婚
2. 出産・育児
3. 家族の介護
4. 自分の健康上の理由
5. 家族の協力がいない
6. 適当な職場がない
7. 進学
8. 高齢のため
9. 働く意思がない
10. その他 ( )

1	
2	
3	

- 問 23 2)-① 今後、看護職として再就職したいと思いますか。  
 1. はい 2. わからない 3. いいえ



- 2)-② その時期はいつ頃を希望しますか  
 1. 3か月以内 2. 6か月以内 3. 1年以内 4. 1～3年 5. その他( )

問 24 問 23-2) -①で「1. はい(今後、看護職として再就業したいと思う)」に○をつけられた方におたずねします。希望する職場を3つまで選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 急性期病院(300床以上) 2. 急性期病院(300床以下) 3. 回復期・療養型病院  
 4. 診療所 5. 訪問看護ステーション 6. 介護保健・福祉施設  
 7. 会社・事業所 8. 看護教育機関 9. 行政(県・市町村)  
 10. その他( )

1	
2	
3	

問 25 問 23-2) -①で「1. はい(今後看護職として再就業したいと思う)」に○をつけられた方におたずねします。

1) 希望する雇用形態 はどれですか。

次の中から2つまで選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。(複数回答可)

1. 正規職員(フルタイム) 2. 正規職員(短時間)  
 3. 非正規職員 4. 派遣 5. その他( )

1	
2	

2) 希望する勤務形態 はどれですか。

次の中から2つまで選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。(複数回答可)

1. 交代制勤務 2. 日勤のみ 3. 夜勤専従 4. 短時間勤務  
 5. その他( )

1	
2	

問 26 問 23-2) -①で「1. はい(今後看護職として再就業したいと思う)」に○をつけられた方におたずねします。再就業のためにはどんな条件が必要ですか。希望する条件を3つまで選んで右の欄に優先順位の高い順に記入してください。

1. 時間外勤務が少ない 2. 短時間勤務等柔軟な勤務形態がある  
 3. 夜勤が少ない 4. 夜勤がなく日勤勤務である  
 5. 休みがとりやすい 6. 育児支援制度が利用しやすい  
 7. 院内保育がある 8. 介護休暇がとりやすい  
 9. 看護内容が充実している 10. 自分の能力が活かせる  
 11. 安全に配慮された職場環境 12. 人間関係が良い  
 13. 悩みを相談できる人(制度)がいる 14. ハラスメント対策ができています  
 15. 福利厚生が充実している 16. 自分が希望する給料  
 17. 通勤に便利な職場 18. 継続教育が充実している  
 19. キャリア支援、資格取得支援がある 20. 家族の理解  
 21. 自分の体調調整(健康状態) 22. 家族の条件(親や子供の健康)  
 23. その他( )

1	
2	
3	

## ◆看護師等の離職時等の届出制度について（看護師等人材確保法による）

問 27 離職時、あなたは看護師等の離職時等の届出制度について職場で説明を受けましたか。

1. 説明を受けた                      2. 説明を受けなかった

問 28 平成 27 年 10 月から、離職時にナースセンターへの届出が法制化(努力義務)されたことを知っていますか。

1. 知っている                      2. 知らない

## ◆岡山県ナースセンターについて

問 29 岡山県ナースセンターを知っていますか。

1. 知っている →    ①利用したことがある    ②利用したことはない

2. 知らない

問 30 問 29 で「1. 知っている」と答えられた方 におたずねします。

知っている人は何によって知りましたか。（複数回答可）

1. 研修会で説明を受けた    2. 学校での授業や説明会    3. 職場での説明会  
4. ポスターやチラシ            5. ホームページ                      6. 職場の同僚  
7. 就職フェア・看護フェア    8. ハローワーク            9. その他(                                      )

問 31 問 29 で「1. 知っている →①利用したことがある」と答えられた方 におたずねします。  
どのようなことでナースセンターを利用しましたか。（複数回答可）

1. 就業相談を受けた  
2. 求職サイト「e ナースセンター(無料職業紹介サイト)」にアクセスした  
3. 届出サイト「とどけるん」にアクセスした                      4. 技術講習会を受けた  
5. セミナーに参加した            6. その他(                                      )

問 32 問 29 で「1. 知っている →②利用したことはない」と答えられた方 におたずねします。  
利用しなかった理由は何ですか。（複数回答可）

1. すでに就職が決まっている    2. 県外に転出する    3. 他の職業紹介所を利用する  
4. 職場復帰予定だが時期が未定    5. 何らかの理由で働くことができない  
6. 個人情報登録することに不安がある    7. 働く意思がない    8. 離職後間もないため  
9. その他(                                      )

問 33 具体的にナースセンターに期待すること、要望、こんな講習会があれば利用したい等がありましたら  
ご自由にご記入ください

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

## 2. 看護師等の離職時等の届出制度のご案内

2015年10月1日より、看護師等の離職時等の届出制度がはじまりました。保健師・助産師・看護師・准看護師の免許をお持ちで、お仕事をされていない方は、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、都道府県の「ナースセンター」へ届け出ることが努力義務になりました。届出は、スマートフォンやインターネット、都道府県ナースセンターで行うことができます。

### 対象者

- 病院等（病院、診療所、助産所、介護老人保健施設、指定訪問看護事業を行う事業所も含む）を離職した場合
- 保健師、助産師、看護師、准看護師の業に従事しなくなった場合
- 免許取得後、直ちに就業しない場合
- 現在、業務に従事していない場合

### 届出内容

- 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」で定められている項目（必須項目）
  - ・ 氏名、生年月日、および住所
  - ・ 電話番号、メールアドレスその他の連絡先に関わる情報
  - ・ 保健師籍、助産師籍、看護師籍または准看護師籍の登録番号および登録年月日
  - ・ 就業に関する状況
- ナースセンターが必要な支援を行うための項目（任意項目）
  - ・ 職歴
  - ・ 離職年月
  - ・ 復職の意向
  - ・ ナースセンターが行う無料職業紹介への登録希望

### 届出方法

- 対象者本人が直接ナースセンターへ届け出する方法（本人届出）
  - ・ 看護師等の届出サイト「とどけるん」へ本人が Web 登録する
  - ・ 最寄りのナースセンター窓口へ届出票を提出（郵送）する
- 離職時等に就業先が本人に代行して届け出する方法（代行届出）
  - ・ e ナースセンターの求人施設ポータルサイトから、CVS データに取りまとめて届け出る
  - ・ 届出票（紙面）を取りまとめてナースセンターへ直接届け出る



看護職等の届出サイト「とどけるん」top 画面

\* 登録はこちらから → <https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

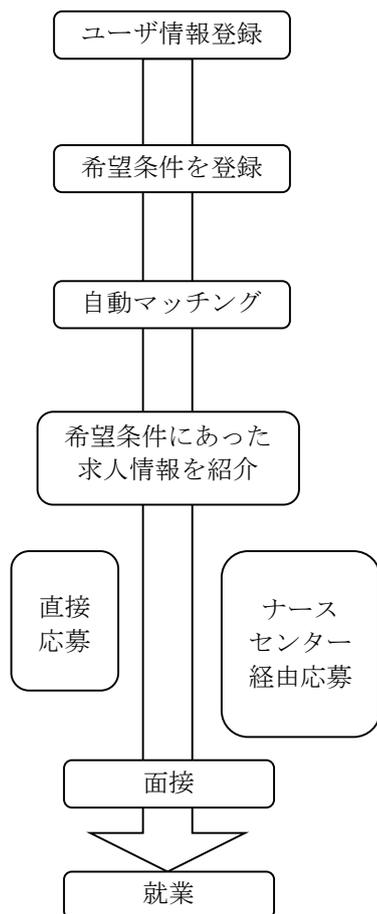


### 3. e ナースセンター登録、利用のご案内

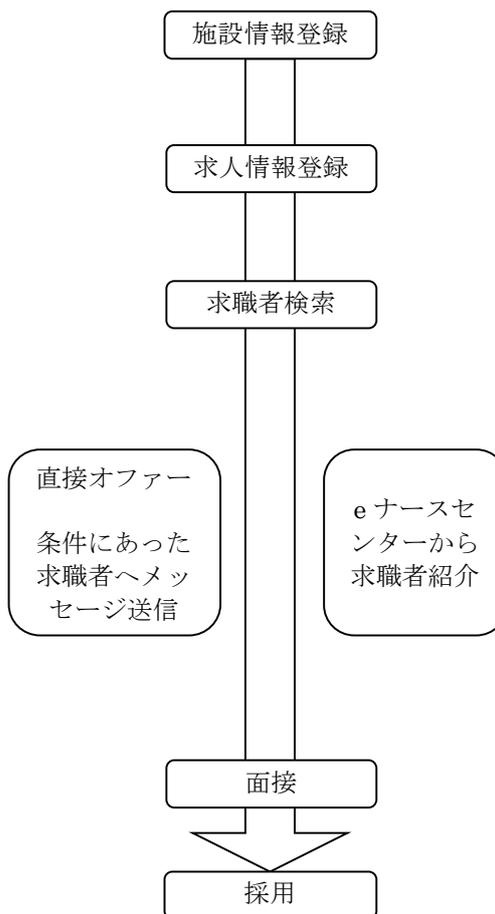
無料職業紹介サイト e ナースセンターは全国ネットワークです。岡山県内のみでなく、県外での就職を希望される方も登録可能です。スマートフォンで求職者登録から、求人検索、応募まで対応できます。

#### ■ 登録から就業まで

求職者 お仕事探し



求人施設 人材を探す



#### ● 簡単ユーザ登録

- ・ ナースセンターへの登録が簡単に！ユーザ登録していない場合でも、求人検索（体験版）ができます！
- ・ 全ての操作がスマートフォンで可能になります！

#### ● 簡単お仕事検索

- ・ 勤務地・待遇など条件に合う求人情報を簡単に検索できます！
- ・ あなたの希望にあった求人情報を自動的にマッチングし、毎週新しい情報がメールで届きます！
- ・ 全国の求人に直接応募ができます！
- ・ 地図上から希望勤務地の求人施設が検索できます！

#### ● 簡単求職者検索

- ・ 条件に合致した人材を簡単に検索することができます！
- 看護職への直接オファー
  - ・ e ナースセンターのシステムを通じて求職者へ直接メッセージを送信でき、人材確保のチャンスが広がります！
- 看護職からの直接応募
  - ・ ナースセンターを通さず求職者から直接応募できるようになります！

※登録から紹介まですべて無料です。登録はこちらから→ <https://www.nurse-center.net/nccs/>

※再度、求人・求職活動をする場合、簡単な手続きでナースセンターをご利用できます。

※岡山県ナースセンターへの問い合わせは下記をお願いします。

<TEL> 086-226-3639    <E-mail> okayama@nurse-center.net



